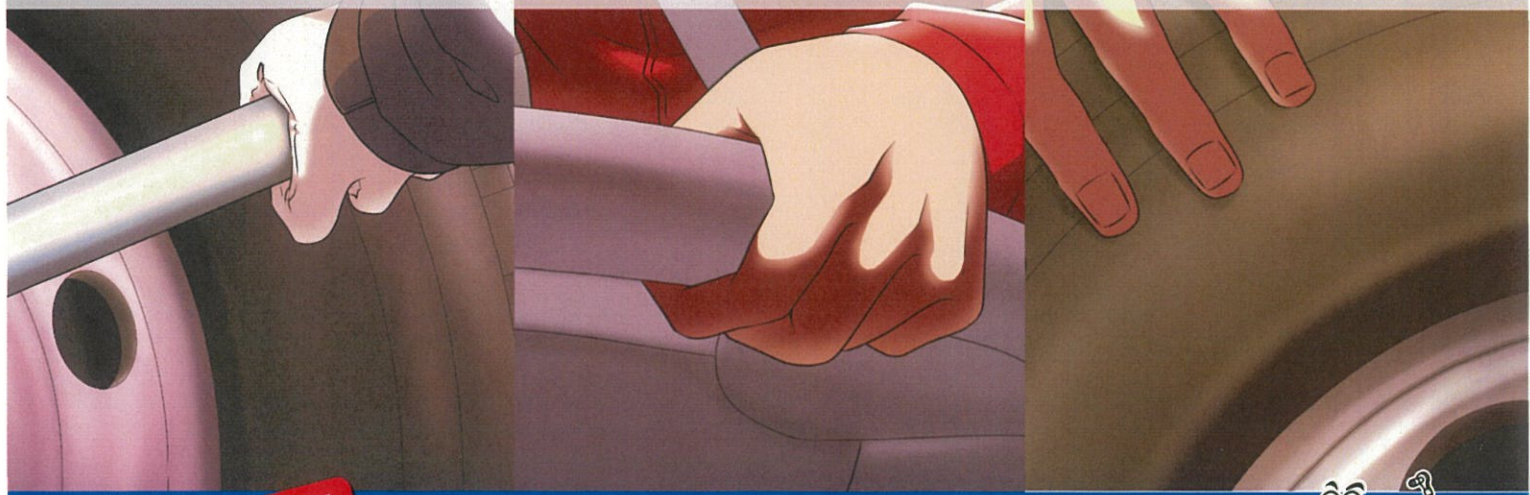


大型車の車輪脱落は許さない。

大型車に関わる私たちプロの使命です。



重大事故を未然に防ごう!

タイヤ・ホイールは、しっかり点検、正しく整備。



- | | | | |
|--|--|--|---|
| <p>1 規定のトルクで
確実な締付けを</p> <p>規定の締付けトルク
締付け方式には、横面座で締付けるJIS方式と平面座で締付けるISO方式があります。「規定の締付けトルク」で確実に締付けます。
※ホイールナットの締付け不足、締め忘れ、締め過ぎ、ナット締付け位置がずれている、「規定の締付けトルク」で確実に締付けられたことを確認するようにお願いします。</p> | <p>2 50~100km走行後は
しっかり増し締めを</p> <p>締付け後は初期なじみによってホイールナットの締付け力が低下、50~100km走行後を目安に、増し締めしてください。
※50km走行後、増し締めを必ず行ってください。
1. フロントナット 2. リアセンターナット 3. リアホイールナット
※増し締めは、必ず規定のトルクで行ってください。</p> | <p>3 一日一回の
日常点検を</p> <p>運行前にホイールボルト、ナットを目で見てまわって点検してください。異常を発見したらすぐ整備工場へ。
※JIS方式では、アルミホイール(スチール)用のホイールボルト、ナットでスチールホイール(アルミ)は締付けできません。スチールホイール用のホイールボルトで、アルミホイールは締付けできません!
※JIS方式では、アルミホイール(スチール)用のホイールボルト、ナットでスチールホイール(アルミ)は締付けできません。スチールホイール用のホイールボルトで、アルミホイールは締付けできません!</p> | <p>4 ホイールに適した
ボルト、ナットを</p> <p>スチールホイール、アルミホイールの履き替えには、それぞれ適合するホイールボルト、ナットの使用が必要です。必ずご確認ください。
※JIS方式では、アルミホイール(スチール)用のホイールボルト、ナットでスチールホイール(アルミ)は締付けできません。スチールホイール用のホイールボルトで、アルミホイールは締付けできません!</p> |
|--|--|--|---|

車輪脱落を防ぐ4つのポイント